

クララとローベルト

図書館 4 階展示コーナー

— クララ・シューマン 生誕 200 年 —

今年、19 世紀最高の女性ピアニスト、クララ・シューマン (1819～1896) が生まれて 200 年になります。クララは 12 歳で演奏会を開くなど、その才能と名演奏はヨーロッパ中に知られていました。ローベルト・シューマンとクララは、父親との法廷闘争を経て 1840 年に、ライプツィヒ郊外シェーネフェルトの教会で結婚し、妻としても母としても音楽家としても多忙な時を過ごします。作曲家としてのクララは若いときからピアノ作品などを残しますが、当時女性作曲家が社会から認められる事はほとんど無く、夫の死以降はピアノ演奏と後進の指導が主たる音楽活動になりました。



夫ローベルトは 46 歳で生涯を閉じますが、彼が亡くなった後、妻クララはおよそ 40 年生きて、夫の作品普及につとめます。シューマンの楽譜は没後、クララ・シューマンの主導、シューマンの弟子でクララの支援者でもあったブラームスも携わって刊行されました。現在は「旧全集」と呼ばれているものです。シューマン作品の伝達に大きな役割を果たしてきましたが、重要な最晩年の作品が含まれていないなど、現在から見れば不十分な面があり、1991 年以降「新シューマン全集」が刊行されています。



《展示楽譜》

クララ・シューマン 自筆ファクシミリ

クララ・シューマン作曲の歌曲

「Mein Stern 1846」

贈呈用にクララが浄書したもの。



《展示楽譜》

ローベルト・シューマン 自筆ファクシミリ

「マリーのためのクラヴィーア小品」

長女マリーの 7 歳の誕生日のために作曲された 8 曲と、バッハ、ヘンデル、ベートーヴェン、シューベルトなどのよく知られた旋律に基づく編曲小品。

これを出発点として 43 曲からなる《少年のためのアルバム》Op. 68 が作曲されていく。

● 演奏会：「クララとローベルト」記念コンサート (芸術情報センター 6 階ロビー 12:40 開演)

①11 月 25 日 (月) チェロ独奏：金子鈴太郎 ピアノ伴奏：仲道祐子 (本学教授)

②11 月 28 日 (木) ピアノ演奏：谷口和杜、山崎尚代 (大学院生)

③12 月 17 日 (火) ピアノ演奏：瀬崎紀子、中谷友香 (伴奏要員)

(展示構成・テキスト：芹澤秀近 大阪芸術大学音楽学科教授)